研修の特徴 総合診療

多摩総合医療センターで研修可能なサブスペシャルティ領域

病院総合診療	プログラム責任者：救急・総合診療科　村田　研吾 プログラム期間：１年

総合診療、内科、救急などの基本領域研修の修了後に、都立多摩総合医療センターを拠点として、日本病院総合診療医学会認定の病院総合診療専門医を目指す研修プログラムを提供します。多様な症候・疾患への対応力、組織運営力、地域との連携力を養う充実の研修環境です。

当院単独での研修に加え、水戸協同病院、飯塚病院、川崎市立多摩病院、東京ベイ浦安市川医療センターとの連携研修も可能です。定期的な面談、勉強会、指導等により内容を補完します。当プログラム加入時にすでに日本病院総合診療医学会加入歴が2年以上ある場合は、最短1年間で研修修了が可能です。

新・家庭医療	プログラム責任者：救急・総合診療科　村田　研吾 プログラム期間：１～２年

多摩総合医療センターを拠点に、新・家庭医療専門医制度に則った実践的な研修を提供します。幅広い疾患や年齢層に対応する多摩総合医療センターでの研修に加え、小児・在宅・地域医療も豊富です。当院の総合診療専門医プログラム修了者は1年、それ以外は2年で修了が可能です。多彩な連携施設とともに、地域に根ざした家庭医を育成します。

小児期については小児総合医療センターおよび多摩北部医療センターの各診療科と、プライマリケアの経験は、近隣医療機関の他、鴨川市立国保病院、北海道家庭医療学センター郡部サイト、西伊豆健育会病院、東京都島しょ、西多摩医療圏の施設と連携します。各診療科での指導とともに定期的な面談、勉強会、指導等により内容を補完します。

多摩北部医療センターで研修可能なサブスペシャルティ領域

総合診断科→ 内科ダブルボード	プログラム責任者：総合診療科　金井　貴夫 プログラム期間：総合診療専門研修プログラム＋１年

本プログラムは、総合診療専門医、内科専門医のダブルボードコースです。当院は中規模の地域密着型総合病院であり、地域のニーズとして総合診療、内科両方の能力が求められています。

都市型総合専門医としてのマインドを持つ内科系ホスピタリストの育成を目標としています。総合診療専門医研修をプログラム制で3年修了したのち、内科専門医研修を1年のカリキュラム制で1年修了します。3年次修了後に総合診療専門医を、4年次修了後に内科専門医を、それぞれ取得可能となります。